

令和 8 年度

第1回

芳川小学校運営協議会



令和 8 年 5 月 14 日 午後 1 時 30 分より

浜松市立芳川小学校

☆授業参観

<次第>

- 1 開催要件(過半数の出席)確認
- 2 校長挨拶
- 3 新規委員任命書交付
- 4 自己紹介
- 5 浜松市学校運営協議会規則確認、学校運営協議会自己評価について
- 6 会長の選出
- 7 副会長の指名
- 8 議長の選出(出席した委員の中から互選)
- 9 前回会議録、令和7年度協議会自己評価の確認
- 10 熟議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) いじめ防止等の基本方針について

(3) その他

11 報告

- (1) 「ほうがわクスノキ応援団」の活動について
- (2) 夢育やらまいか事業に関する意見書について
- (3) 年間計画について

12 連絡

- 次回開催日時 令和8年7月1日(水)13:15
- 次回議長選出

第1回 学校運営協議会 名簿

学校運営協議会委員

委員	鈴木 幸彦 すずき ゆきひこ
委員	犬居 和賀代 いぬい わかよ
委員	林 容子 はやし ようこ
委員	海老名 俊樹 えびな としき
委員 (学校支援コーディネーター)	鈴木 麻里 すずき まり
委員 (学校支援コーディネーター)	前島 杏里 まえしま あんり
委員	井本 陽介 いもと ようすけ

オブザーバー

南陽協働センター	井川 昌代 いかわ まさよ
南陽協働センター	袴田 唯之 はかまた ただゆき

学校

校長	結城 知則 ゆうき とものり
教頭	影山 重広 かげやま しげひろ
CS担当教職員	鈴木 由香 すずき ゆか
CSディレクター	内田 由佳 うちだ ゆか

学校運営協議会 年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和8年 5月14日 木曜日 13:30～15:00 CSルーム	熟議テーマ (1)授業参観 (2)学校運営の基本方針について (3)いじめ防止等の基本方針 ～本校の生徒指導の実情とこれからの取り組み～ (4)夢育やらまいか事業に関する意見書について	○基本方針は前年度中に承認済み
2	7月1日 水曜日 13:15～15:00 CSルーム	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 授業の視点及び授業参観 <input type="checkbox"/> 子供たちの主体性を高めるために <input type="checkbox"/> 学校評価アンケートについて	
3	10月19日 月曜日 13:30～15:00 CSルーム	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 児童運営委員会のとの意見交換 <input type="checkbox"/> 温かく人とかかわる力を育むために <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の結果より <input type="checkbox"/> その他	
4	2月15日 月曜日 13:30～15:00 CSルーム	熟議テーマ (1)学校関係者評価 学校の自己評価説明⇒改善策について熟議⇒次年度へ (2)次年度学校運営の基本方針について説明 (3)学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告	○学校運営協議会の自己評価表委員の意見収集⇒学校への提出締め切り日

- 1 開催日時 2026年2月16日(月) 13時40分から15時40分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 犬居和賀代、林容子、佐藤祐輔、鈴木麻里
- 4 欠席委員 鈴木幸彦、海老名委員、前島委員
- 5 オブザーバー 袴田唯之(南陽協働センター)
- 6 学校 結城知則(校長)、大石智香子(教頭)、内田由佳(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木麻里委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 次年度学校運営の基本方針(グランドデザイン)の説明について
 - ・来年度の活動の変更点について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の犬居から、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

今年度の学校評価アンケート結果について、「自分も友達も大切に」という自己肯定感や学校への満足度が昨年度より向上していることが報告された。一方で、保護者評価において「決まりや約束を守る」「怪我や事故に気をつける」といった項目がやや低下しており、今後の課題として共有された。

・家庭学習の在り方について、従来の「やらされる宿題」から、子供たちが自ら学びを選択する「自主学習」への転換を検討していることが示された。が、これに対し、主体性だけでは取り組めない子への配慮や、教師による適切な後押し、家庭への丁寧な周知が必要である。(佐藤会長、林委員)

・学校の「やりたい」を大切にすると雰囲気や、コミュニティスクールの進化が評価された一方で、保護者との対面での意思疎通(学級懇談会など)の重要性にも着目したほうがよい。(林委員、麻里委員)

(2) 次年度学校運営の基本方針(グランドデザイン)の説明について

→来年度のグランドデザインは、教職員が対話を重ね、「活用しやすさ」を重視してよりシンプルに作成された。学校教育目標は「夢に向かって 共に輝く」を継続する。(学校の説明)

→目指す学校の姿として、「子供、教職員、家庭、地域みんなが幸せ」「子供が参画する学校づくり」という新たな視点が盛り込まれた。特に、子供が運営協議会に参加する機会を設けるなど、当事者意識を高める取り組みが提案された。(学校の説明)

・保・幼・小・中の連携について、隣接する幼稚園との交流や、中学校の合唱・作品展示を通じた中学生への憧れの醸成など、具体的な連携の工夫について意見があった。(犬居委員、麻里委員、林委員)

・来年度の活動の変更点について 学校側より、変更案が提示された。

1. 始業式と入学式の別日開催:準備の充実と新入生・在校生双方の負担軽減のため。
2. 面談と参観会の時期調整:保護者の来校負担を考慮し、4 月は面談、6 月に参観会を実施する。
3. 運動会の金曜日(平日)開催:子供の健康面や教職員の働き方改革、地域の習い事との重複回避のため。
4. 金曜日の清掃なし:放課後の時間を活用し、子供のゆとりや教職員の業務時間を確保する。
5. 音楽会の午前中開催:内容を整理し、地域・保護者への発表に重点を置く。
6. 懇談会の形式見直し:一方的な伝達ではなく、ワークショップやイベントをセットにするなど、保護者が参加しやすい形を模索する。
7. 集団登校の見直しと個別登校の検討:トラブルの抑止や不登校児童への配慮、個々のペースに合わせた登校を可能にするため、PTA と相談しながら試行期間を設けて検討していく。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

・委員同士が顔の見える関係になれたことや、活発な意見交換ができたことが評価された。一方で、今後はより地域の実情に基づいた気楽な対話の時間も大切にしたいとの要望があった。(佐藤会長、犬居委員、麻里委員)

・CS 活動の認知度向上に向け、デジタル(さくら連絡網等)だけでなく、自治会の回覧板や LINE グループを活用したアナログ・SNS 両面での情報発信の重要性が大いにある。(佐藤会長、麻里委員)
全員異議なくこれを承認した。

12 その他報告事項等

・夢育やらまいか事業についての報告、および「ほうがわクスノキ応援団」の活動報告が行われた。

・南陽協働センターの改修に伴う休館(令和10年1月3日まで)と、連絡先の変更の有無についての報告があった。

・司会から、次年度の第1回協議会は、2026年5月14日(木)午後1時30分からCSルームで開催する旨の報告があった。

(様式1)

学校番号 (小)・中 031)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(芳川小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

協議結果を地域住民まで報告し、ボランティア活動を自治体まで広げ、御理解御協力いただける働きかけができるような成果に繋がる情報発信を模索していく。

子供の安心、安全のため、学校、地域、保護者の連携をよりスムーズにする。登下校時の送迎に伴う危険度の認知と危険度の緩和のため、地域住民の協力も求めながら、どのような支援協力のあり方が良いのか協議を続けたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

基本方針の中で、本年度に力を注ぎたい点として、「子供の主体性を育てたい。」と、校長からプレゼンを受けた。《主体的に学び、関わり、鍛える子供の姿》を目標として、育成していきたいという具体的な説明があり、委員全員が方針を理解、共有できた。地域や学校が協力できることや、方法について協議した。子供の安心安全に関しては、いじめ防止対策についての方針や実態、年間指導計画について協議できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

教職員と委員の合同協議会で、主体性を育むための教育方針について協議した。「ほうがわクスノキ応援団」団員による授業補助や、環境整備活動が充実した。学校行事も含めた諸活動でのボランティア依頼を通して、学校と保護者、地域の方との橋渡しとしての支援ができた。活動に際しての改善点や協力方法を具体的にあげ、より深い協議ができた。教育目標に即した支援として、ピンクシャツデーなどへの子供たちの主体的な参加も促していく。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校ホームページ、さくら連絡網を使っただけのコミスクだよりなど、発信の継続は行えた。学校運営協議会自体の知名度は低く、協議結果の発信、周知としては浅いと感じられる。地域住民、自治体まで広がる発信としては、十分とは言えない。登下校時の送迎の安全に関して、危険度の認知と緩和の点において、情報発信共有は難しかった。過日、正門前で、車両同士の事故が発生。この事故をきっかけに今後の対策も協議中である。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

自治体や保護者に対して、より伝わる形で協議会の内容や成果の情報も届け、学校運営協議会への認知・関心を広める方法を模索していく。登下校、送迎時の事故防止にもつながる子供の安心安全を支える持続可能な協力関係の構築を図る。子供の主体性を育てるため、どのような協力ができるのか熟議していく。